



発信年月日：令和5年（2023年）10月27日
所 属 名：高島農産普及課
番 号：H23012
部 門 分 類：150 野菜
発 信 者 名：深澤、奥田

ホース接続型ドローンの薬剤防除を視察

安曇川町泰山寺ではダイコン栽培の省力化や環境負荷を軽減した資材導入を検討するため、令和5年度から同集落において「グリーンな栽培体系への転換サポート事業」を活用した調査を行っています。調査は2年計画でダイコン栽培における生分解性マルチの導入やドローンを用いた薬剤防除を行い、環境保全効果と省力効果および栽培導入にあたっての課題の検討に取り組んでいます。

事業の一環として、9月1日（水）にダイコン生産者2名、高島市役所職員と共に石川県農林総合研究センターを訪問し、ドローンを用いた農薬散布の実演を見学し、ドローンの導入推進に向けた情報収集を行いました。

センターでは、ホース接続型ドローンの使用方法や特徴について説明を受け、薬剤防除の実演を見学した後、導入に向けての課題や、現状について情報交換を行いました。生産者はドローンの導入にあたっての費用や、薬剤の散布精度について質問されていました。視察を通して、既存の農薬を幅広く使用できることや、慣行の動噴による散布に比べて、防除作業が省力化できるなどメリットはあるものの、散布むらが発生しやすい等の課題も見られました。

当課は今後も関係機関と連携しながら、生産者の経営安定に向け情報提供や栽培支援を行います。



ホース接続型ドローン



ドローンを用いた散布